



NPO

基金ニュース



KOBATON & SAITAMATCH

Contents

- P1 H26年度 寄附者紹介／
ごあいさつ
- P3 H26年度 NPO基金事業実績
H26年度 NPO基金事業報告
- P4 ・共助社会づくり支援事業
・NPO活動サポート事業
- P5 分野指定
- P7 寄附者によるネーミング事業
- P13 ・「プロジェクト×共助」
支援事業
- <お知らせ>
- P16 団体を希望して
寄附をお考えの皆様へ
- P16 ・みんなでサポート事業
- P19 ・NPO元気なまちづくり助成事業
- P20 ・中核的NPO育成事業
- P20 ・地域の共助社会づくりの
担い手支援事業
- P21 H27年度 NPO基金事業のご紹介
- P22 NPO基金を支える3つの寄附方法



彩の国

埼玉県

感謝状贈呈式

NPO基金へ多大な寄附を頂いた皆様への感謝状贈呈式を開催しました。 ※開催日順



リバーマーケティング株式会社 埼玉支社 様



株式会社小山本家酒造 様



トキタ種苗株式会社 様



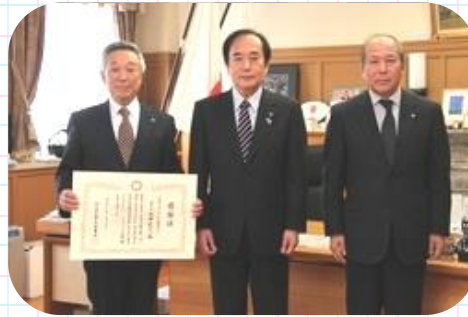
株式会社ヤマギシライフコーポレーション 様



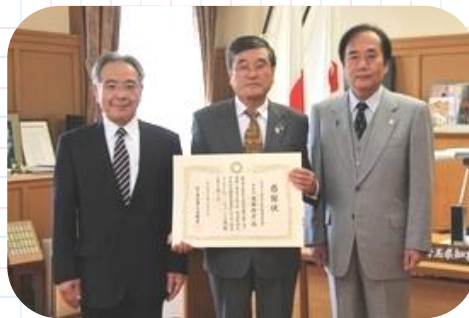
アサビール株式会社 埼玉統括支社 様



株式会社ちふれ化粧品 様



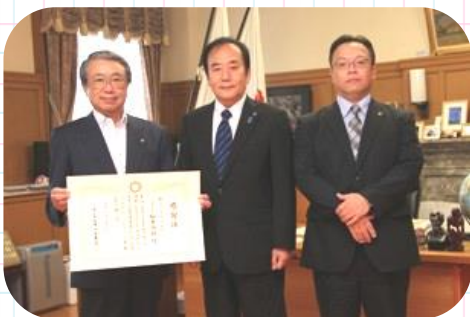
一般財団法人さいたま住宅検査センター 様



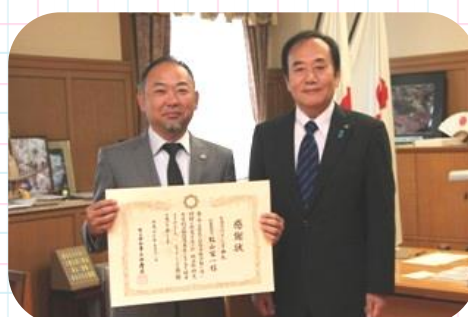
公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部 様



株式会社富士薬品 様



株式会社ファイブイズホーム 様



有限会社さいたま典礼 様

このほか4名の皆様へ感謝状を贈呈しました。

平成26年度 NPO基金事業実績

平成26年度にNPO基金を活用して行った事業実績は以下のとおりです。各事業の採択団体からの事業報告書はホームページ「NPOコバトンびん」に公開しています。（※「NPOコバトンびん」については裏表紙をご覧ください）

共助社会づくり支援事業

(P4)

NPO法人が市町村を含む3主体以上で連携し、地域課題を解決するために実施する取り組みに対して助成しました。

助成件数	助成金額合計
4件	3,819千円

NPO活動促進助成事業

【NPO活動サポート事業】(P5)

NPO基金の「分野希望寄附」を原資に、NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する独自性や先駆性のある事業に対して助成しました。

	助成件数	助成金額合計
①分野指定枠	3件	1,400千円
②ネーミング事業	10件	3,864千円
計	13件	5,264千円

【みんなでサポート事業】(P16)

NPO基金の「団体希望寄附」を原資に、基金登録団体の日常の活動に対して助成しました。

助成件数	助成金額合計
15件	4,761千円

「プロジェクト×共助」支援事業

(P13)

3大プロジェクト（①埼玉エコタウンプロジェクト、②埼玉版ウーマノミクスプロジェクト、③健康長寿埼玉プロジェクト）及び「川のまるごと再生プロジェクト」の推進に寄与する事業に対して助成しました。

プロジェクト	助成件数	助成金額合計
①埼玉エコタウン	2件	2,000千円
②埼玉版ウーマノミクス	2件	850千円
③川のまるごと再生	3件	2,800千円
計	7件	5,650千円

NPO元気なまちづくり助成事業

(P19)

地域で支え合う共助意識を高め、地域をよりよくなる「住民交流を目的としたまちづくり」のために、NPOが取り組む活動拠点の整備事業に対して助成しました。

助成件数	助成金額合計
1件	2,000千円

中核的NPO育成事業

(P20)

県内NPO法人の認定・仮認定・指定取得の促進のため、中間支援NPO法人が行うNPO支援事業に対し助成しました。

助成件数	助成金額合計
2件	2,500千円

地域の共助社会づくりの担い手支援事業

(P20)

各地域振興センターにおいて、地域の共助社会づくりの一翼を担うNPOの運営力や広報力向上の為のセミナーや交流会等を開催しました。

事業費合計
489千円

共助社会づくり支援事業 【市町村を含む3団体以上と連携】

地域の市民およびヘルスケアプロバイダーを対象とした 独立型教材・患者急変対応コースの開発による急変搬送の円滑化

特定非営利活動法人救急医療の質向上協議会 (越谷市)

【団体紹介】救急現場では、「もっと早く、正しい対処をしていれば最悪の事態にはならなかった」という経験をしています。私たちはこのような事態を撲滅するため、医療関係者はもとより、一般の方が傷病に迅速かつ適切に対応できるようにトレーニングを提供しています。

【事業概要】地域課題である『救急搬送の円滑化』への取組です。本事業では、身近な人や市民自身の急変に対して迅速に判断し、適切な伝達・行動につながるような教材を作成しました。教材で学習した市民は、患者急変の早期発見と迅速な119番通報ができるようになります。通報時点から、医療機関が必要とする情報提供につながり、患者のスムーズな医療機関への受け入れが可能となります。

【今後の展開】教材を各消防に配布し、各種市民講座に

て実際に活用していく予定です。教材内容をより多くの人に伝えていくため、入手しやすいようホームページにアップロードします。その他、様々な広報手段を利用して積極的に広報活動を行い、地域課題である『救急搬送の円滑化』の解決に努めていきます。



連携先市町村 越谷市

共助社会づくり支援事業

越谷市における空き家の利活用の実践

NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター (越谷市)



【団体紹介】越谷市や大学等と連携して、市民による良好な住環境の維持・管理や景観まちづくりの活動を支援しています。より良い地域コミュニティの醸成や、住宅地の資産価値向上を目指しています。さら

に、住まいに関する新たなビジネスを創出することで地域経済の活性化を図ります。

【事業概要】空き家を地域のコミュニティサロンとする「みんなの家プロジェクト」の具体化に取り組みました。ここでは、空き家等を社会資源と捉え、その利活用を推進するために、空き家相談会や講演会を実施しました。活動の中で、空き家管理者や地元自治会の理解を得て、空家問題の解決に着手し、企画・運営しました。また、空き家問題は幅が広いので、行政の関係部署である市の建築住

宅課、くらし安心課、社会福祉課等と連携して対応できる体制を構築することができました。

【今後の展開】「みんなの家プロジェクト」は、家屋の管理者との連携を密にし、改修に進んでいく予定です。地元自治会との協力体制を軸に、活動を活発化させ実現に向けて努力していきます。さらに、「みんなの家プロジェクト」モデルケースとして、地域における居住福祉のまちづくりを推進していきます。



連携先市町村 越谷市

祭りと人のデータベース「ホーリヤイ秩父」

特定非営利活動法人秩父こみにてい (秩父市)

【団体紹介】秩父地域における、地域コミュニティの核となる活動をしています。音楽コンサート、絵画・写真展覧会、ワークショップ、映画上映など様々な文化活動を行い、文化芸術拠点を目指しています。

【事業概要】秩父地域で年間400を超えると言われる、神社仏閣の祭礼に関するデータベースと冊子を作成しました。書籍やウェブサイトの詳細調査、現地調査等を行い情報収集を行いました。実際に祭礼にかかわっている方から様子を聞き、現状を確認を行い、内容について教育委員会や観光協会などに確認を依頼し確実なものにしました。

【今後の展開】存在はわかっている、取材できていない祭礼やイベント等が、数多く残されています。これらについても取材し、データベースに情報を随時、更新していき



ます。また、You Tubeチャンネルをつくり、地域の文化芸術イベント等も取材して、撮影した動画を公開して広報活動を進めていきます。

連携先市町村 秩父市 横瀬町・長瀬町・皆野町・小鹿野町

子育て中の女性に贈るキャリアプランニング

特定非営利活動法人 MCAサポートセンター (宮代町)

【団体紹介】子育て支援事業における中間支援を軸に活動しています。子育てについて深く考える講座や趣味の講座を通じて意見交換を行います。参加者が仲間づくりをして、参加者自身がスキルアップをして、イキイキと子育てをする応援をしています。

【事業概要】子育て中の女性を対象に、キャリアについて考えるきっかけとなる保育付きの講座を開催しました。「子育てもキャリア」

だと理解することで、子育て期間を有意義に過ごし、自分に合ったタイミングで無理なく次のステップにシフトしていく事を提案しました。講師によるキャリアプランニング講座や、参加者のモデルになるような趣味の講座、スキルアップの為のパソコン講座・接客講座を開催しました。得意な事、好きな事を仕事にすることを学びました。講座終了後は、意欲やスキルが高まり、講座の冊子の作成に関わったり、就職が決まった参加者もいました。

【今後の展開】今回の事業全体を載せた冊子を作成し、参加者や子育て中の方が立ち寄り場所に広く配布しました。これによって、講座に参加できなかった方にも「子育てもキャリア」という考えを浸透させていきます。『子育て』というキャリアを積んだ多くの女性が自信を持って、社会貢献、社会参加、就労していくよう応援し、地域の活性化に繋がります。



連携先市町村 宮代町

NPO活動サポート事業 (分野指定)

比企レンタサイクル周遊事業 (サイクレーゼ事業)

まちづくり

特定非営利活動法人ReSURE (吉見町)



【団体紹介】地域の持続可能性を再生しその維持を図ることを目的に、主に①地域資源のマーケティングとプロモーションをサポートする事業、②地域コミュニティメディアのプラットフォームの構築をサポートする事業を行っています。

【事業概要】比企における交流人口の少なさや、認知度の低さ等の課題に対して、自然+ライフスタイル+歴史という「比企スタイル」の魅力を域外の人々(特に女性)をターゲットに、オシャレなレンタサイクルで比企を周遊してもらい消費を促すことを目的に実施しました。自転車のレンタル事業だけでなく、動画や画像によって比企の魅力を伝えるウェブサイトの運営、行政主催イベントでのプロモーション、協賛スポット(事業者)と連携した、地域活性化事業への取り組み等も行いました。

【今後の展開】シーズンオフのスタート(11月)でしたが、16名の利用があり、東京、神奈川からの観光客や地元企業に用事のあるビジネス客の利用が多くありました。次の行楽シーズンに向けて、マスメディアへの売り込みや、SNSを活用した広報宣伝を強化するとともに、地元での認知を高める為にガイド付きの「地元の豊かさに触れるレンタサイクルの旅」を開催します。また地元企業へのビジネス利用拡大のための営業も行います。さらに学生と地域の繋がりを深めるプロジェクトを実施している地元大学と提携して、レンタサイクルによる地元資源の発掘と発信、留学生による外国人目線の情報編集と発信等に取り組んでいきます。

防災教育を目的とした小学生のためのアドベンチャー・キャンプ

特定非営利活動法人埼玉県キャンプ協会（加須市）

災害救援
・
地域安全

【団体紹介】NPO法人埼玉県キャンプ協会は、埼玉県におけるキャンプの普及と発展をその目的に活動している団体です。700名程の会員を抱え、幼児から大人、高齢者に自然体験の大切さと必要性を実際の行事を通して唱えています。また、キャンプの指導者育成にも力を入れ取り組んでいます。

【事業概要】未来を担う子どもたちが、近年叫ばれている大きな災害に対して、怖がりながら、あるいは不安に思いながら毎日過ごすのではなく、災害に備えた知識や行動力をキャンプの手法を使って培ってもらい、明るく積極的に日々を送ることができるようにと小学生を対象としたサバイバル・キャンプを実施しました。この事業を通して子どもたちは、集団で頑張ることや、一生懸命行うことによる達成感や、自己肯定感を高めていくことができたと評価しています。

【今後の展開】子どもたちの自然体験の豊富さは、そのまま震災や災害時の生きる知恵や技能につながっていくことを、多くの子どもたちに普及すると同時に、学校関係者や教育関係者にもいろいろなツールを使って展開していく予定です。



NPO活動サポート事業（分野指定）

児童虐待防止ネットワーク事業

特定非営利活動法人埼玉子どもを虐待から守る会（さいたま市）

子どもの
健全育成

NPO活動サポート事業（分野指定）

【団体紹介】当会は平成7年に子ども虐待防止を目的に有志が集まり発足しました。平成14年にはNPO法人格を取得し、子ども虐待防止活動を専門的に行う埼玉県で唯一の民間団体として活動しています。民間団体の利点を生かし、関係職種間のネットワーク促進事業（ネットワークミーティング）や被虐待児とその家族等への援助事業（虐待予防を目的とした電話相談（平日：10時から16時））等を実施しています。

【事業概要】子どもの権利条約が批准されてから20年の節目であること、日本で『子ども虐待防止世界会議名古屋2014』が開催されることから、年間テーマに『子どもの権利と児童虐待』を掲げ、関係職種間のネットワーク形成の促進を目指し、事業を実施しました。

ネットワークミーティングでは、弁護士を講師に迎えた子どもの権利条約の学習会（6月）、子ども虐待事例の事例検討会（10月）を実施しました。子ども虐待防止世界会議名古屋2014では、学会誌に抄録を掲載するとともに、学会会場で民間団体としてポスターブースに出展し、活動紹介や全国の団体との情報交換、交流を図りました。

【今後の展開】児童虐待に関する専門電話相談（平日：10時から16時）を継続します。また、ネットワークミーティングは年4回の実施を計画し、関係機関、多職種が児童虐待に関する情報交換や対応スキルを向上させるための交流の場として継続します。更に、子ども虐待防止世界会議への参加によって得られた最新の知見を地域に還元する場として講演会を企画します。



NPO活動サポート事業（ネーミング事業）とは

「ネーミング事業」とは、埼玉県NPO基金に50万円以上の「分野希望寄附」をしていただいた場合に、寄附者の方に県が実施する助成事業の愛称を付けていただける制度です。

◆□ NPOへの助成手続 □◆

原則として12月までの寄附を取りまとめ、翌年度の4月からネーミング事業として募集を開始いたします。

県が設置した有識者等で構成される委員会で審査を行い、採択を決定した事業（NPO法人）に対して県から助成金を交付します。採択されたNPO法人は、年度末に開催されるNPO基金事業報告会（一般公開）で事業の成果を発表します。

◆□ ネーミングの基本構成 □◆

企業名や商品名等と、支援したい分野を組み合わせたものとなります。



◆□ 平成26年度ネーミング事業一覧 □◆

ネーミング事業名	分野	助成団体及び事業名
キリンビールマーケティング（株）埼玉支社 地産地消・食育応援事業	地産地消・食育	（特非）本庄ファンクラブ 郷土のお米の作り方体験教室
		（特非）鳩ヶ谷協働研究所 ご当地調味料を使った「地産地消メニュー・商品」開発事業
（一財）さいたま住宅検査センター まちづくり・住環境向上事業	まちづくり	（特非）住まいの安全と防犯の会 大地震に備えるための「高齢者が自己責任としての身の安全を図るべき事前対策」の啓発事業
武蔵野銀行 子育て支援事業	子どもの健全育成	（特非）アザレア・バレーボール振興会 アザレア・バレーボール技術講習会
Sankeiキッズ募金 子育て振興事業		（特非）子育て支援あげお プロのママさん作り事業 （特非）M i K Oねっと 子どもライブフェスタinみさと （あそび広場・町探検ポイントラリー）
（株）富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業	環境保全	（特非）食品リサイクル農園あさか 市民がつくる都市農園
正和工業（株） 省エネ事業で環境保全事業		（特非）環境とエネルギー 地中熱で実現する環境未来都市セミナー
金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業	みどりと川の再生	（特非）ゆかいな仲間たち みどりと川に親しむことにより子ども達の心のケア及び自然保護を促進する地域ふれあい事業
		（特非）一二三富の会 緑を生かしたまちづくり

キリンビールマーケティング株式会社 埼玉支社

地産地消・食育応援事業

地産地消

・
食育

**郷土のお米の作り方体験教室
（お米の自然農法栽培とソフトスチーム加工体験）**

特定非営利活動法人本庄ファンクラブ（本庄市）

【団体紹介】本庄市の魅力を発掘・創造・発信して一人でも多くの方に本庄を好きになってもらって、住んでもらうための活動をしています。伝統文化、芸術、農業、広報・ITの4分野を中心に、本庄市と連携して「空家・空地管理サービス」も開始しました。

【事業概要】本庄の地域資源である「農業力」を伝播するために「自然農法栽培の稲作体験」にスポットライトを当て、宣伝紹介しました。そして、地元農家が20年以上にわたり取り組んでいる「自然農法稲作栽培」を、より多くの方に体験してもらい、環境と体にやさしい栽培の大切さと食物の大切さを感じてもらうことを目的として「稲作体験」プログラムを実施し、田植え、かかし作り、稲刈り、収穫祭と一連の稲作を体験していただきました。

【今後の展開】HPの掲示と地元子供会を中心としたチラシ配布を行いました。稲刈り体験では県外の参加者も多く、自然と触れ合う事への関心の高さを感じました。今後は、より広報範囲を拡大し、地域外の方に「自然農法の本庄」を広めていく計画です。



ご当地調味料を使った「地産地消メニュー・商品」開発事業

特定非営利活動法人鳩ヶ谷協働研究所（川口市）

【団体紹介】ご当地調味料や食材を通じて地域の歴史や文化、栄養などを学びながら、地域の様々な方々と連携してメニューや商品の開発を行い、地産地消を促進しま

す。これらの活動を通じて、地域経済活性化と地域コミュニティの再生を目指します。



【事業概要】川口のご当地調味料である「鳩ヶ谷ご当地焼うどんソース」と「川口の麦味噌」を使い、埼玉産小麦を使ったうどんや焼き菓子、草加せんべいの商品やメニューの開発をしました。川口市ボランティア見本市や鳩ヶ谷駅夜祭り等に出展し、PRすると共に、試食・アンケートを実施しました。焼うどんソース、麦味噌とセットにするうどんの真空パックを試作しました。



【今後の展開】試作した商品については、パッケージの検討など商品化を進めます。商品化が実現した際には、地域を巻き込むお披露目イベントを開催し、ご当地色を強く打ち出していきたいと考えています。また、飲食店メニューの開発途中に現場からのアイデアでドリアを試作したように、対象とする食材を、うどん、せんべい、焼き菓子以外にも広げます。

NPO活動サポート事業（ネーミング事業）

一般財団法人

さいたま住宅検査センター まちづくり・住環境向上事業

まちづくり

大地震に備えるための
「高齢者が自己責任としての身の安全を図るべき事前対策」の啓発事業

特定非営利活動法人住まいの安全と防犯の会（新座市）



【団体紹介】震災で高齢者の死傷に繋がるのは家の倒壊だけでなく、部屋での転倒や落下物によるものが非常に多くあります。家庭内の被害は防ぐことができるので、地域毎に公共施設や、個人宅にて自己責任としての事前防災対策を促す活動を行っています。

【事業概要】出前講座やイベントなどにより啓発しました。わかりやすいリーフレットやスライド、ビデオを活用して具体的に解説しました。①栗原町内会・老人クラブのむつみ会では35名の高齢者が集まりました。②新座市民まつり産業フェスティバル及び彩の国いきいき埼玉フェスティバルでは、事前対策のほか、高齢者と子どもたちとのふれ合いの機会も設け、家族や隣近所と仲良く生活することを呼びかけました。ほか耐震診断を含め4回実施し、年間で約1,200名が参加しました。

【今後の展開】市内町内会、社会福祉協議会支部等の高齢者に対し継続して「自己責任としての安全対策」を行動に移すよう促します。



武蔵野銀行 子育て支援事業

子どもの
健全育成

アザレア・バレーボール技術講習会

NPO法人アザレア・バレーボール振興会（川越市）

【団体紹介】県内のバレーボール愛好者（特に小学生・中学生）の健全育成を図る為、バレーボールの大会や技術講習会を通してお互いに助け合うチームワークを学ぶ事の大切さや団体行動を教え、地域の活性化や健康増進

に寄与する事を目的としています。このような機会を与えてくれた武蔵野銀行さんに感謝申し上げますとともに、今後も我々のような団体へご援助をお願い申し上げる次第です。



【事業概要】11月に草加地区と川口地区の小学生を対象に技術講習会を行いました。ともに、バレーボールの基礎であるオーバーパスを中心に最後はゲームで終了しましたが、とても楽しくバレーボールのパスの重要性を理解できました。また、礼儀や集合・解散などの集団行動の大切さを学び、決められた事を皆で守り、行動する事の重要性が理解されたと思います。

【今後の展開】アンケートの回答は、80%近くが楽しく参加できており、90%以上がまた講習会があったら参加したいと思っていることがわかりました。以上をふまえて、埼玉県内の小中学生を対象に来年度以降も同様の講習会を計画していく予定です。

Sankeiキッズ募金 子育て振興事業

子どもの健全育成

プロのママさん作り事業（アドバイザー養成講座、ベビーサロン）

特定非営利活動法人子育て支援あげお（上尾市）

【団体紹介】前・現民生委員・主任児童委員が中心となり子育て支援事業を行っています。特に乳児の家庭支援、ヘルパー事業、アドバイザー養成講座、ベビーサロン、子育て支援拠点トコトコの運営に力をいれています。

【事業概要】子育てアドバイザー養成講座(プロママ養成講座)を実施し、幼児・育児の体系的教育、実践を通じて地域の中核となるママの育成を図りました。乳幼児期の発達、障害、虐待とシェーキングベビー、産後鬱、赤ちゃんの病気、予防歯科、沐浴実習等、合計12時間という長い時間にもかかわらず、参加者は非常に熱心で、質疑も活発に交わされました。また、ベビーサロンでは乳幼児とママを対象に赤ちゃん体操、ママカフェ、身長体重測定、ママとの写真撮影等を行いました。キャンセル待ちが出るほど好評で、特に転居したばかりのママたちはすぐに仲良くなり、メール交換したり日頃の悩みを語らう時間となりました。

【今後の展開】アドバイザー養成講座を継続して開設します。修了した方は託児、ヘルパー、子育て拠点事業等で活動する場面も多くなると思います。ベビーサロンは、参加申込者が多い事から、開設回数を増やしていく予定です。



こどもライブフェスタ in みさと（あそび広場・町探検ポイントラリー）

特定非営利活動法人MiKOねっと（三郷市）

【団体紹介】NPO法人MiKOねっとは、6年前に発足した三郷市の子育てネットワークです。子育て中の親と支援者、行政が協力して、子育てしやすいまち、子どもが

いきいき・キラキラ輝けるまちになるように、情報交換、交流、学習の場づくりを行っています。

【事業概要】子どもたちをサポートする地域の方々と一緒に楽しいおまつり・フェスタを創り、子どもたちの笑顔があふれた、地域の活性化につなげる事業です。いきいき・キラキラ輝くイベントで子どもたちに楽しい体験を届け、町探検ポイントラリーでは自分の住むまちを知ってもらいました。

【今後の展開】子どもたちが参加する部分は、子ども会議で話し合ってから内容を決めました。子ども会議から参加した子どもの達成感は高く、たくさんの地域の方々に参加する、地域を巻き込んだおまつりになりました。今後、さらに内容を充実させていきます。



NPO活動サポート事業（ネーミング事業）

株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業

環境保全

市民がつくる都市農園

特定非営利活動法人 食品リサイクル農園あさか（朝霞市）

【団体紹介】本会は、朝霞市の焼却ごみ50%の生ごみ減量の根本的解決の為に研究会から始まりました。生ごみ減量から土部（緑地）問題、「土育」という言葉をつくり、土の中の生態系から命が始まっていると認識して、食育・農園芸福祉療法・都市農地保全にまで活動を広げています。

【事業概要】①有機野菜栽培②落ち葉堆肥の外堀修理製作③シンポジウムの開催④冊子「土育を学ぼうvol.2」の制作を行いました。①では栽培した野菜の収穫祭を地域の方とも開催するほか、他団体と連携して農園福祉療法にも取り組みました。③のシンポジウムは、「緑地としての都市農地を考える～市民がつくる体験農園ガーデンセンターあさかを目指して～」と題して2月に朝霞市リサイクルプラザで開催しました。「都市農地を守るための海外における事例発表」に続き、東京都で緑地を守る活動を行っている方々や朝霞市在住の建築家のお話を伺い、緑地としての農地に対し市民は何ができるかなどを検討しました。



【今後の展開】これからも、生ごみ減量事業、有機野菜栽培を通じて「土育」啓発のための講座やシンポジウム、テキスト作成、農園芸福祉療法の後継者育成等に取り組んでいきます。「緑地としての農地」に対して市民は何ができるのか、継続して考えていきたいと思えます。

正和工業株式会社 省エネ事業で環境保全事業

環境保全

地中熱で実現する環境未来都市セミナー

特定非営利活動法人環境とエネルギー（さいたま市）

【団体紹介】水やエネルギーシステムと環境との関係を総合的かつ客観的に研究及び評価し、安心、安全な暮らしや持続可能な企業活動と調和する社会の実現に寄与

ることを目指して、セミナーや視察、意見交換会などの活動を進めています。

【事業概要】①環境とエネルギー公開セミナーを4回実施、最新の情報を紹介すると共に、広く情報発信し、情報共有と新たな交流の機会になりました。②自然エネルギー活用の植物工場、周年栽培園芸を視察調査し、今後、地中熱利用の可能性について多くの知見が得られました。③埼玉県主催の展示会に2回出展し活動紹介し、多くの来場者に関心を持ってもらえました。④環境とエネルギーに関心の高い学生の育成支援として、環境とエネルギー賞を創設して授与しました。

【今後の展開】①公開セミナーを継続開催し、環境とエネルギーに関して広く情報を収集し、市民への情報発信を継続する。②地中熱利用の冷房や農

業ハウス、植物工場などへの応用を検討していきます。③関係者の連携の輪を広げていくようにします。



金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

みどりと川に親しむ事により子供達の心のケア及び 自然保護を促進する地域ふれあい事業

みどりと川の
再生

特定非営利活動法人ゆかいな仲間たち (秩父市)

【団体紹介】当団体は、東日本大震災を発端として社会で困窮している人々の為になりたいと熱い思いを持ったメンバーで結成した団体です。東日本大震災ではいち早く支援物資をお届けし、被災地の方々と家族的な交流を深め、物心両面で寄与していると自負しています。

【事業概要】自然の大切さをこれからの社会を担う子供達に伝えようと思い、まずは子供達が興味を持ちやすい祭りによって端緒を開こうと思いました。秩父市では、「水の恵みに感謝して厄を落とす」がテーマの「川瀬祭り」があります。

ここに東日本大震災の被災児童達を招待し、児童達の祈りを秩父神社で牡鹿復興太鼓の演奏にのせて届けました。そして被災児童達と秩父市住民が協力し、秩父源流水であ



る荒川周辺の清掃活動を実施し、交流を深めました。

【今後の展開】今回の活動により児童達が自然の素晴らしさを再認識し、アンケートでも大多数の者から当事業への賞賛の声を頂きました。今後は清掃活動への参加人数の拡大及び自然の素晴らしさの認識をもっと多くの人々に広めたいと思います。



緑を生かしたまちづくり

特定非営利活動法人一二三富の会 (坂戸市)

【団体紹介】子どもから高齢者まで、三世代が心豊かに暮らすまちを生み出すために、緑を生かしたコミュニティづくりを提案します。また公園の整備と保全作業、家庭菜園をベースにした「マルシェ」の定期開催、新たな地域ブランド等の開発など、高齢者の活躍の場を創出しています。

【事業概要】坂戸市の市街地の緑の現状把握と評価及び市内の一級河川岸の緑化観点での現地調査を行いました。そして岐阜県各務原市を訪問、現地視察で、河川緑化の法的・技術的課題の克服に多くのヒントを得ました。

また甲斐徹郎氏をコンサルタントに迎え、氏が関わった各地を訪問調査し、コミュニティづくり、事業実施方法や



他のNPO活動の成果など、様々なことを学びました。これらを「緑を生かしたまちづくり」中間報告書と「市内緑のマップ(現状)」として、当会ホームページに公表しました。これを足掛かりとして次年度の事業を計画しています。

【今後の展開】3月14日開催の「発見！市民活動フェア」に参加し、本事業の成果を市民に説明しました。平成27年度には、市民の意見も取り入れて「緑を生かしたまちづくり」をランドデザイン試案として、坂戸市の行政施策に生かされるように提案します。



地域から再生可能エネルギーを育てるエコタウン市民プロジェクト

エコタウン

特定非営利活動法人チーム東松山（東松山市）

【団体紹介】東松山市と協働により、①環境まちづくり事業をスタート、平成22年8月、拠点となる②コミュニティカフェ「まちカフェ」開店、平成23年4月、③東日本大震災被災地支援を開始、平成24年7月、NPO法人チーム東松山（①②③事業）は誕生しました。

【事業概要】埼玉・東松山エコタウンプロジェクトを市民サイドから側面的に盛り上げるため、「省エネ」+「創エネ」+「蓄エネ」=「育エネ」をキーワードとして、エコタウンプロジェクトがめざす再生可能エネルギーの普及促進、エネルギーシフト

を可能とする人材育成、体制構築に取り組んできました。セミナー・講習会等のイベント計11回、延べ400名近い市民に当事業に関わっていただき、埼玉エコタウンプロジェクトの東松山市での活動に貢献しました。

【今後の展開】「省・創・蓄」エネの各種プログラムを充実し、子ども、親子で取り組めるプロジェクトや「育エネ」を可能とする人材育成をさらに進め、エネルギーの地産地消を実現する具体的なモデルを全国に発信したいです。



エコタウン本庄市「スマートライフ省エネのすすめ」プロジェクト

エコタウン

【認定】特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉（さいたま市）

【団体紹介】当団体は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に定める「埼玉県地球温暖化防止活動推進センター」として埼玉県知事より指定を受け、県民・事業者・民間団体や行政等とネットワークを構築し、地域における地球温暖化対策の推進に取り組んでいます。

【事業概要】埼玉エコタウンの対象である本庄市において、市民への省エネ創エネの意識向上を目的に、行政や地域の環境活動リーダー等と共に、啓発活動を展開しました。市内で開催されるイベントへの出展や、地元ショッピングセンターと協力したキャンペーンを通し、多くの市民へ啓発



活動を実施しました。またセミナーを市内2箇所で開催し、専門家講師による省エネの具体的なアドバイスを提供することで、市民がスマートライフを実践するための一助となりました。

【今後の展開】本プロジェクトを通し、本庄市と環境活動リーダーの連携を強めることができたので、両者協働による活動を促進することができます。今後、市内で開催される既存の連続講座等に働きかけ、環境をテーマとした講座を開催することで、引き続き省エネ創エネの啓発活動を継続することが可能となります。



女性のための月3万円ビジネス創発事業

特定非営利活動法人 すぎとSOHOクラブ (杉戸町)

ウーマノミクス

【団体紹介】地域社会に個人が新しいビジネスをつくるための支援活動を行っています。今回、これまでのシニア向けビジネス支援に加え、地域に新しいビジネスの芽を育てるため、子育て中の女性を軸にした「ちいさくたのしい自立のかたち」をテーマに活動をスタートしました。

【事業概要】子育て中の主婦層を対象に、自分がやりたいことや好きなことから小さなビジネスをつくる「わたしたちの月3万円ビジネス」講座を実施しました。やりたいことを見つけるドリームマップ講座、ビジネスアイデアを生み出すセッション、商品を魅力的に伝える発信力講座、地域マルシェを活用したビジネス実践からなる全5回のプログラムです。多様な属性の女性12名が参加し、それぞれが自分らしい仕事を創り出し、ビジネスを実践するというアクションまで落とし込み、地域に女性の活躍の場を広げることができました。

【今後の展開】第一段階として、自分のやりたいことから地域でちいさな仕事を創り出す女性のネットワークを広げていきます。すでに本講座実施中に草加市からの要請があり、トークショーを実施。平成27年4月以降には連続講座の開催を見込んでいます。



『コミレスを活用した地域の女性の働く場づくり事業』

NPO法人カローレ <旧 鶴ヶ島市学童保育の会> (鶴ヶ島市)

ウーマノミクス

【団体紹介】NPO 法人 カローレ(以下当法人という)は、鶴ヶ島市内において学童保育室を7つの小学校区で運営しています。また、同市内において普通のレストランとは違い、人と人がつながるコミュニティセンターの役割を果たすコミュニティレストラン「ここほっと」(以下コミレスという)を開設しています。平成26年9月には、学童保育主眼の事業から、子育てサポートを軸とした地域福祉、地域活性化を目的とする法人へ事業展開するため、名称を「鶴ヶ島学童保育の会」から「カローレ」へ変更しました。カローレはイタリア語(Calore)で「ぬくもり」を意味します。

【事業概要】当法人が運営しているコミレスを研修の場として活用し、地域の高齢者の女性を対象とした、『ワンディシェフ方式』によるコミレス運営のための研修会や調理実習、店舗実習を企画実践し、高齢者向けの弁当配食や食事提供のできるコミレス事業を立ち上げるための支援を行うことによって、女性の就労支援と地域経済の活性化を図る目的で実施した事業です。

【今後の展開】この研修を受講された内の5名の女性が当法人が運営する「学童保育おやつセンター食育工房」(コミレスここほっと内)で就労することになりました。

地域の方々なので、おやつを通して子どもたちに関わっていただいたり、コミレス「ここほっと」が「地域の居場所」としてより地域の方々が集まりやすくなることが期待できます。



都幾川源流から清流再生事業

【認定・県指定】 特定非営利活動法人ときがわ山里文化研究所（ときがわ町）

川の
まると再生

【団体紹介】ときがわ町を活動拠点にして、山里の豊かな自然と伝承文化を継承するため、森づくり、炭焼き、竹や杉桧林の間伐、源流探索、山菜料理作りなど多彩な山里の暮らし体験を楽しく元気に行っています。活動日は、毎週土曜日で、会員300名です。

【事業概要】①川のまると再生プロジェクト実施箇所である都幾川源流の森づくりとして、都幾川の源流域にクヌギ、コナラ、山桜等7種の広葉樹1,200本を植え付けて豊かな水源の森づくりを行っています。②「ときがわ山の学校」の開校 子どもたちが元気に谷川探索や山歩き、流しそうめん等を体験する実践学校。約300名が参加しました。③ 流域圏市民と山里の交流 河川の清掃や地域の竹林間伐、草刈り支援等四季を通した多彩な交流イベントを数回行い、延べ400名が参加しています。

【今後の展開】都幾川の源流域の環境保全と山里を元気にするため、多くの都市市民や、子どもたちが、水源地域の森づくり、環境を保全する多彩な実践活動に参加していただくよう、さらに事業の発展に取り組んでいきます。



都幾川鞍掛橋周辺における川遊び促進事業

特定非営利活動法人比企自然学校（東松山市）

川の
まると再生



【団体紹介】NPO法人比企自然学校は、以下のような事業を推進しています。①自然体験活動企画・運営、川の学校、田んぼの学校、里山の学校の開催②食とエネルギーの地産地消コンサルティング、農業の6次産業化、特産品開発（武州こころ柿）・薪の暮らし普及

【事業概要】川遊び促進事業は、川のまると再生プロジェクト実施箇所である都幾川において、川を安全に利用するための指導者向けの養成研修会と東松山市内の親子を対象とした川遊び教室として開催しました。指導者向けの養成研修会では、川での活動における安全管理や子どもを引き付けるプログラム作りなどに高い評価をいただきました。

【今後の展開】今回は県からの助成金があったためこのような事業を実施することができました。一方、比企自然学校ではこれまでも川遊びの次世代養成を目的とした『川の学校』を数年前から実施しております。今後は、この都幾川も活動拠点とし、また親子川遊び教室も含めて、事業を継続していきたいと考えております。



「忍川に遊ぼうイン行田」と「忍川清掃大イベント」

特定非営利活動法人ふるさと創生クラブ（行田市）

川の
まると再生



【団体紹介】当会は平成16年発足の、行田市で活動しているボランティア団体です。持田地区にビオトープを設置、管理し、市内小学校児童を対象に夏、冬ふるさと子供教室を継続展開、また西小学校の付き添い下校を現在も継続中です。川のまると再生プロジェクト実施箇所である忍川において、表記イベントを実施、子供達や市民に環境保護の啓発と醸成に努めています。

【事業概要】①「忍川に遊ぼうイン行田」のイベント開催6月7日(土) 1級河川「忍川」翔栄橋付近で、アユ稚魚放流・カヌーボート遊び・川のまると再生プロジェクトのパネル展示説明解説・魚つかみ体験(川魚)・ミニ水族館(川魚) ②「忍川清掃大イベント(忍川クリーンアップ作戦)」10月25日(土) 1級河川「忍川」東橋～平成橋(1.5km)・美化清掃活動・川のまると再生プロジェクトのパネル展示説明解説などを行いました。

【今後の展開】一般市民の参加意識や興味を加味したイベントを企画し「忍川に遊ぼうイン行田」や忍川清掃大イベント(忍川クリーンアップ作戦)を継続的に実施していくことにより、より多くの市民への環境保護の意識啓発活動を展開していく予定です。



「**団体希望寄附制度**」とは、寄附者の方が支援したい団体を希望して寄附することができる制度です。寄附者の方は、埼玉県が管理・運用する基金に寄附することで、税法上の優遇措置を受けることができます。一方で、団体希望寄附のあった団体は、**団体希望寄附を原資にした助成事業「みんなでサポート事業」**を活用することができます。



団体希望寄附についてお知らせ

みんなでサポート事業

保健・医療・福祉

特定非営利活動法人共生フォーラム（さいたま市）

特定非営利活動法人ぶどうの樹（日高市）

16

◆□ NPO基金団体登録制度（団体希望寄附制度）の登録期間終了について □◆

認定NPO法人制度や、埼玉県指定NPO法人制度など、NPO法人への直接の寄附を支援する環境が整備されたことに伴い、NPO基金団体登録制度（団体希望寄附制度）については、平成25年度に内容を一部変更いたしました。

このため、**多くの団体が平成28年3月末で登録が終了します。**

団体を希望して寄附する場合は、お早めに（平成27年11月末）御寄附をお願いいたします。各団体の登録期間は下記アドレスから確認できます。なお、平成26年4月1日以降に登録団体となったNPO法人は除きます。

★ 御寄附の前にご確認ください ★

団体希望寄附の相手先は一覧からお選びください。
(各登録団体の寄附受入れ期間などが確認できます)

NPOコバトンびん 基金登録団体一覧

<http://www.saitamaken-NPO.net/html/kikin/kikintourokudantai/>

100万円以上の寄附をされたい場合は、あらかじめご連絡ください。

(共助社会づくり課 担い手支援担当 048-830-2839)

みんなでサポート事業

保健・医療・福祉

特定非営利活動法人共生フォーラム（さいたま市）

「共に生きる」の理念を共有する仲間たちの会として創設され、介護福祉から国際NGO活動まで幅広く活動しています。

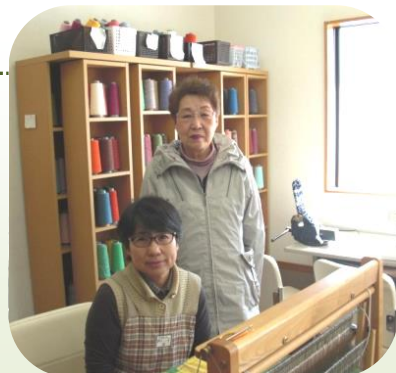
第18回目となる高齢者介護研究会では、介護に関わる最も関心の高い、介護・福祉施設がかかえる問題とその解決方法、対応策等を事例に基づき検証・研究し、発表しました。常に介護現場の最前線にいる施設職員による介護事例の発表は、大変参考になりました。また、第6回目となる幸福の手紙大募集では、応募総数981通に普段は照れくさくて言葉で伝えにくい「ありがとう」の気持ちを託して、大切な人に伝えることができました。



特定非営利活動法人ぶどうの樹（日高市）

当法人は、就労継続支援B型事業でさをり織を導入しています。年2回地域にある百貨店（まるひろ）で販売会を実施し、開けた施設を目指しています。今回、織機を2台追加して体験事業を行い、お客様に体験していただきました。

今後も地域の方々に気軽に立ち寄っていただき、当施設の事業内容を知っていただくとともにボランティア活動への協力にもつなげていけたらと思います。



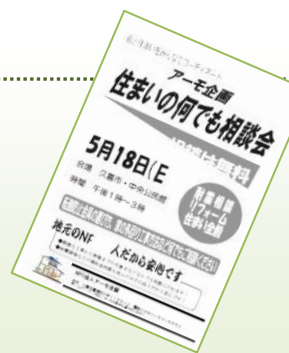
まちづくり

NPO法人アーモ企画（久喜市）

市民・高齢者が安心して居住できる住宅や安全な地域環境について相談・提案事業を実施しています。

電話や訪問による耐震・リフォームの勧誘が日常的に行われている中、悪徳業者についてもマスコミで報道されています。

住宅相談を通じて、環境を考えた事業所からオイル阻集器設置などの相談があり、専門業者を交えてコミュニケーションを深め、共力・共同の輪をすすめることができました。



学術・文化

特定非営利活動法人埼玉県愛瓢会（所沢市）



当法人は、秋篠宮殿下を名誉総裁にお迎えした、ひょうたん栽培、加工工芸を主体とした瓢箪愛好家約1,000名の団体です。

所沢市老人福祉センター・緑寿荘を主会場として所沢ひょうたんクラブとして活動しており、年間6回偶数月に、お雛様、サンタクロース、その他キャラクター人形など季節にあったひょうたん人形を作り、展示しました。今回の事業で、高齢者をはじめ、地域の親子、小学生との「和」を生み世代をこえてのコミュニケーションの向上にも寄与していると確信しており、さらなる運営工夫で活動を発展させていきます。

環境

特定非営利活動法人 すぎとSOHOクラブ（杉戸町）

当法人は、埼玉県杉戸町を拠点に、地域社会に生きる力とつながりを創出するために、町づくり事業を柱に、里山保全事業、個人ビジネスの支援事業等を行っています。

今回は、地域住民を対象に、暮らしに直結するエネルギーを自分でつくる体験として、ガスや電気を使わずに火を起し、煮炊きができる野外道具「ロケットストーブ」を制作するワークショップを実施しました。参加者および見学者に対し、不用品を活用して自らの手で作る道具づくりの楽しさを提供するとともに、エネルギーに依存するだけでなく、自給することもできる！という自信をつけてもらうことができました。



特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会（さいたま市）



当法人は県内の環境活動と地域活性化を目的に、地球温暖化・環境保全地域への啓発に取り組んでいます。

今回の研修見学会では東京都のスーパーエコタウン事業として実施されているリサイクル事業企業2社を見学しました。いずれも工場規模に対し食品廃棄物の受入・処理量・発生エネルギーが多いものの効率化で先進的な取り組みがなされていました。県内各自治体でも家庭から出る生ごみや含水率の高い食品産業廃棄物などの焼却処理方法について、地産地消の観点からより効率活用できる可能性があると感じました。川口市をはじめとする自治体に生ごみリサイクルの有効な方策を提案するヒントを得ることができました。

熊高森づくりの会（熊谷市）

当会は埼玉県立熊谷高校OBを中心に平成20年7月に設立されました。会員数は現在1,007人で、OB間の交流事業のほか環境保全活動を行っています。

平成26年11月に開催された第7回熊高の森育樹祭では、森づくりの活動地である1号地と2号地の愛称を発表しました。

1号地が「熊高紫雲の森」、2号地を「熊高さくらの森」と命名し、これらの標柱をそれぞれの入口に設置しています。会員が自らの活動に誇りを持つにとどまらず、より多くの人々に森づくり活動の重要性をアピールするとともに、参加意欲を高めることとなりました。



環境

〔認定〕 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉（さいたま市）



埼玉県知事より「埼玉県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受け、温暖化防止の活動を主に行っています。継続的に県民へ温暖化防止に向けたCO2削減のための省エネや創エネの啓発活動を行っています。今回は、環境へ配慮した個々のライフスタイルの転換を目指し、県民を対象とした講演会を開催しました。多くの方に参加いただき、温暖化の影響や対策について情報を提供することができました。

国際

特定非営利活動法人 燈台（北本市）

燈台は難民支援活動を開始して以来27年目を迎えました。「現地活動報告会&チャリティーコンサート」（平成26年6月）において、当法人より一年間の活動、クリニックの閉鎖と医療支援の終了の報告がなされました。チャリティーコンサートではシンガー/ミュージックミッショナリーの久米小百合さんをお迎えして素敵な歌とトークを楽しみました。あわせて活動報告と現地での様子をまとめたニュースレターも作成し、支援の輪を拡大することができました。



特定非営利活動法人ivory space（さいたま市）

多文化共生の視点にたつて、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流を行うと同時に、地域社会を考えるキッカケづくりを志向しています。

「アイボリーサロン」と銘打った講演会では、各方面で活躍されている専門家に講師をお願いし、アジアや多文化理解にとどまらず、物事を多角的にとらえられる視点や興味関心を広げられる事にもつながっています。ちょっとした関心や身近なところから世界が広がり、世界とつながる草の根活動をモットーとしています！



子どもの健全育成

特定非営利活動法人彩の子ネットワーク（上尾市）

当団体は、子育て中の母親たちの声や気付きを発信し、みんなで子育てする社会づくりを目指しています。

今回実施した「母親発みんなで子育て事業」では、母親たちの声を反映したアンケート調査を行いました。子どもや子育てが置かれている状況などを見つめ直し、どうすれば変えていけるか話し合いました。

また、平成27年3月に開催した「こども・夢・未来フェスティバル」の実行委員会にアンケートの声を伝えました。母親だけでなく、誰もが子どもに関わっていける可能性と必要性を確認し、そのために必要な関係や場づくりを検討し、実践に向けて動き出すことができました。



子どもの健全育成

特定非営利活動法人 教育ネットワーク・ニコラ（さいたま市）

当法人は、不登校や登校拒否の子供たちが通学する「フリースクール・ばいであ」を運営しています。フリースクールでは学び、遊びやスポーツ等の身体活動、人間関係等を融合し醸成するスキル・トレーニングのプログラムを行い、その中で社会や学校とのかかわりを模索しています。（これまでには、現場から考える不登校専門の月刊誌『ニコラ』の8年間にわたる刊行、5年間の読売教育メール担当の仕事もあります。また、月刊『ニコラ』と連動する形で教育ネットワーク・ニコラの主催において、埼玉県や東京都等の各地の不登校支援団体に呼びかけ、「実践報告会」や「相談会」等をまずは民間主導で不登校支援を行うという先鞭をつけてきました。

今回、『ニコラ』発刊の20周年とフリースクール・ばいであ15周年事業を実施し、日頃の活動の成果を報告するとともに、記念誌の発刊に向けた取組を行いました。市民の方も交えての熱心な討議が行われ、不登校の子供たちの声を届ける一助になったと思います。



特定非営利活動法人 広域ジュニア バドミントンチーム Team Power Hitters Max（熊谷市）



平成20年4月に設立された広域ジュニアバドミントンチームです。バドミントンを愛好するジュニア選手の皆さんと一緒に練習しましょう。常時入会の門戸は開いています。

今回開催した東日本オープンジュニア大会（9月行田、10月熊谷、12月深谷）では、埼玉県内をはじめ東北地区・関東地区の多くの子供たちが集い、日頃の練習の成果を出し合い、同世代の仲間たちとの交流を通じて親交を育むことができました。この経験を今後の活動に生かし、心身ともに成長するきっかけになればと思います。そして、以後のチーム相互の交流も一層深まり、その貴重な経験が時代を担う子供たちの将来の一助になればと思います。

NPO元気なまちづくり助成事業

<元気になるひなん処>「縁joy和ツショイ工房」ステップアップ事業

特定非営利活動法人 川口市民防災ボランティアネットワーク（川口市）



川口市民防災ボランティアネットワークは、川口市及び近県における地震や風水害などの自然災害の際に、被災者の救援活動及び被災地の復旧復興活動を支援するため、平常時から市民・企業・ボランティア団体・行政などと協力し合いネットワークづくりを進めています。防災に強い街づくりを目指して災害救援事業を行い、地域と社会の防災に関わる知識・技術・教育の普及、啓発活動を通して広く公益に貢献することを目的としています。

昨今、大災害に備えた防災まちづくりに対する活動が活発になる中、今回の助成対象施設である「縁joy和ツショイ工房」は、防災対策が急務である地区にある空き店舗を活用し、主にエントランスのオープンテラス化、施設内の大型ホワイトボードの設置、厨房改修、電気工事を実施しました。

改修後の施設を、防災で繋がる地域交流の拠点として、川口市や近隣にある公共避難施設、地元町会などと連携し、要援護者や外国籍市民、子どもを対象とした様々な体験型防災訓練や、防災の観点で実施する街歩きワークショップを開催することができました。また、防災イベントの他、地元町会や商店会と共に、企画会議や地域の方が気軽に集まれる地域の防災企画基地としての活用も始まりました。



中核的NPO育成事業

中間支援NPO法人（※）が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成を行い、NPO法人の認定・仮認定・指定の取得を支援しました。2コース、計27法人に対し個別支援を行いました。

※中間支援NPO法人・・・他のNPO法人や市民活動の支援を行うNPO法人

中間支援NPO法人	事業の内容（コース）
<p><認定NPO法人・県指定NPO法人></p> <p>特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター (さいたま市)</p>	<p>(事業型NPOコース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会費や寄附を主な財源としボランティアで社会的貢献活動などを行うNPO法人を主な対象に、法人運営のポイント、収益事業の展開などをテーマとしたセミナーを開催しました（計4回開催）。 ○ 行政書士等の専門家を派遣し、認定・仮認定・指定の申請や会計処理などのコンサルティングを行いました（16法人支援）。 ○ 法人運営のノウハウ等を、先進的NPO法人において実地に学ぶことができる研修をコーディネートしました（5法人コーディネート）。
<p><認定NPO法人・県指定NPO法人></p> <p>特定非営利活動法人メイあさかセンター (朝霞市)</p>	<p>(ボランティア型NPOコース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護保険や障害者支援などの事業収益で運営しているNPO法人を主な対象に新規に事業を発展させるために必要な資金調達方法などをテーマとしたセミナーを開催しました（計4回開催）。 ○ 認定等制度の説明、事業計画書づくり、会員管理システムなどについての説明・相談会を開催しました（計4会場で実施）。 ○ 行政書士等の専門家を派遣し、認定・仮認定・指定の申請や会計処理などのコンサルティングを行いました（11法人支援）。 ○ 法人運営のノウハウ等を、先進的NPO法人において実地に学ぶことができる研修をコーディネートしました（1法人コーディネート）。

地域の共助社会づくりの担い手支援事業

NPOが地域において共助社会づくりの担い手としての役割を担うため、知識の習得や問題解決能力の向上が図られるよう、各地域振興センターが事業を企画し実施しました。

地域振興センター	テーマ・講師	開催日・場所
南部地域振興センター	南部地域NPO法人事例発表会 共助社会づくり課職員	平成26年12月2日(火) 13:00~15:30 かわぐち市民パートナーズステーション会議室
東部地域振興センター	自立運営できる団体運営のノウハウ ～持続的、発展的なNPOの運営を目指して～ 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事 永沢 映氏	平成26年12月5日(金) 13:00~16:30 春日部地方庁舎大会議室
南西部地域振興センター	NPOステップアップセミナー & 交流会 地域をHAPPYに ～みんなが笑顔になれる活動をめざして～ 特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール 代表理事 平岩国泰氏	平成26年11月26日(水) 17:00~20:00 埼玉県川越地方庁舎
川越比企地域振興センター		
川越比企地域振興センター 東松山事務所		
西部地域振興センター		
利根地域振興センター	NPO法人等活動発表会 ～ワッショイ☆NPOまつり～ 共助社会づくり課職員	平成26年8月22日(金) 9:30~12:30 久喜市鷲宮西コミュニティセンターおどり
北部地域振興センター	これからのNPO法人の資金調達について 田園調布学園大学 講師 福島達也氏 他	平成27年3月19日(木) 13:00~16:30 皆野町役場
北部地域振興センター 本庄事務所		
秩父地域振興センター		

平成27年度 NPO基金事業の紹介

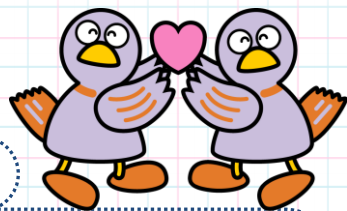
平成27年度にNPO基金を活用して行う事業は以下のとおりです。

各事業の詳細については共助社会づくり課へお問い合わせください。ホームページ「NPOコバトンびん」にも募集要項等を掲載しています。（※「NPOコバトンびん」については裏表紙をご覧ください）



事業名	事業の概要
共助社会づくり支援事業	NPO法人が市町村を含む3主体以上で連携し、地域課題を解決するために実施する取組に対して助成します。 【補助率】補助対象経費の4/5以内 【助成枠】100万円×4法人
NPO活動サポート事業	分野希望寄附金を原資として、NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する独自性や先駆性のある事業に対して助成します。 ◎分野指定枠 【補助率】補助対象経費の4/5以内 【助成総額】330万円 【助成枠】20～100万円 今年度の募集分野：「子どもの健全育成」「みどりと川の再生」 ◎ネーミング事業 【補助率】補助対象経費の10/10以内 【助成総額】470万円 【助成枠】20～70万円 ①一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まいる（スマイル）まちづくり支援事業 ②リトルマーケティング株式会社埼玉支社 地産地消・食育応援事業 ③ちふれ化粧品 頑張る女性を応援する事業 ④金紋世界鷹みどりと川の再生環境保全事業 ⑤株式会社富士薬品ドラッグセイムス環境保全支援事業
みんなでサポート事業	NPO基金登録団体の日常の活動を、団体希望寄附金を原資として助成します。団体希望寄附を受けた基金登録団体は、「みんなでサポート事業」（4月募集・9月募集・12月募集）に応募することで助成を受けられます。
「プロジェクト×共助」支援事業	「3大プロジェクト」のうち、埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進に寄与する事業に対して助成します。 【補助率】補助対象経費の10/10以内 【助成枠】（20～30万円）×2法人 ※「エコタウン」、「健康長寿」、「川のまるごと再生」に取り組まれる場合は、NPO活動サポート事業の「環境保全支援事業」、「地産地消・食育応援事業」、「みどりと川の再生環境保全事業」で対応します。
NPO元気なまちづくり助成事業	NPOの活動拠点の整備事業や地域資源の活用事業に対して助成します。 【補助率】補助対象経費の4/5以内 【助成枠】（100～200万円）×1法人
中核的NPO育成事業	NPO法人の認定・仮認定・指定取得の促進を図るため、中間支援NPO法人（※）が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成します。 ※中間支援NPO法人：他のNPO法人や市民活動の支援を行うNPO法人
地域の共助社会づくりの担い手支援事業	共助の担い手としてのNPOの事業遂行能力、課題解決能力の向上が図られるよう、各地域振興センターが支援します。

NPO基金を支える3つの寄附方法



一般寄附

広くNPO活動の推進のために活用されます。

<一般寄附の推移>

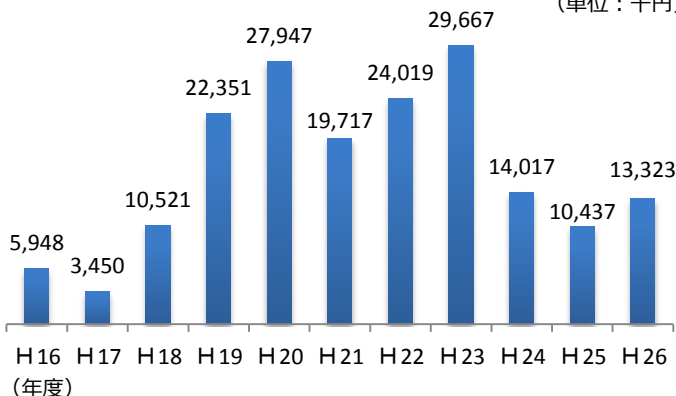
(単位：千円)

H22	H23	H24	H25	H26	累計
2,316	663	1,336	1,841	1,155	33,642

※H16年度からの累計

埼玉県NPO基金への寄附推移額

(単位：千円)



分野希望寄附

特定非営利活動促進法（NPO法）に定める活動分野をもとに、支援したい分野を指定する寄附方法です。「NPO活動サポート事業」、「『プロジェクト×共助』支援事業」の原資となります。

50万円以上の寄附の場合は、下記※印の付いた分野のように、具体的な活動分野も指定できる

「NPO活動サポート事業 ネーミング事業」を利用することができます。



<分野希望寄附の推移>

(単位：千円)

H22	H23	H24	H25	H26	累計
11,901	12,082	4,212	6,133	5,604	60,329

※H16年度からの累計

団体希望寄附

基金登録団体（※）の中から、支援したい団体を希望できる寄附方法です。

「みんなでサポート事業」の原資になります。

指定された団体が「みんなでサポート事業」に応募し、助成を受けることで活用されます。

ただし、助成にあたり審査があり、一年度内の助成金額の上限は200万円となります。

なお、団体希望寄附のうち一部の寄附金は一般寄附として受入れ、広くNPOの支援に活用します。

<団体希望寄附の推移>

(単位：千円)

H22	H23	H24	H25	H26	累計
9,802	16,922	8,469	2,463	6,564	87,427

※H16年度からの累計

※基金登録団体は、ホームページ「NPO情報ステーション」（NPOコバトンびん）で確認できます。

URL <http://www.saitamaken-NPO.net/>



【トップページ】

【埼玉県NPO基金】

【「基金登録団体」のご紹介】

このバナーが目印です。

情報は随時更新しています。団体希望寄附先として指定したい団体が登録されているか、事前に確認してください。
電話（TEL：048-830-2828）でも確認できます。



皆様からの寄附をお願いします



★ 埼玉県NPO基金への御寄附による『税制上の優遇措置』★

【法人の場合】寄附金額の全額を損金算入することができます。

【個人の場合】地方公共団体（埼玉県）への寄附として、ふるさと納税の特例控除が受けられます。

原則として、寄附額のうち2千円を超える部分について、所得税・個人住民税から全額（※1）が控除されます。また、平成27年4月1日以降、確定申告不要で控除を受けられる『ふるさと納税ワンストップ特例制度（※2）』も適用され、お手続きも簡便になりました。

※1 一定の上限があります。

※2 申請が必要です。また、寄附先が5自治体以内である事等の条件があります。

詳細については、所得税・法人税は**税務署**へ、

個人住民税は**埼玉県税務課**（TEL 048-830-2664）までお問い合わせください。

★バナー広告掲載可能★

寄附金額が団体で50万円以上の場合、ホームページ「埼玉県NPO情報ステーション」（NPOコバトンびん）にバナー広告を掲載することができます。

（要申込）



★感謝状・協力証の贈呈★

寄附金額が個人で10万円、団体で50万円以上の場合には知事から感謝状、個人・団体を問わず、1万円以上の場合には協力証を贈呈します。

埼玉県立近代美術館所蔵の名画をデザインした協力証です。



★ネーミング事業★

分野希望寄附への寄附金額が個人・団体で50万円以上の場合、県の実施する助成事業の愛称を付けることができます。

（要申込）

★ 埼玉県NPO基金の状況やNPO活動などNPOに関する情報が満載のホームページ ★



埼玉県NPO情報ステーション

NPOコバトンびん

<http://www.saitamaken-NPO.net/>

コバトンびん

検索

★ 県内のNPO活動や共助の取組に関する様々な情報をfacebookで発信中！ ★

Saitama共助Style

シェア大歓迎！

<http://www.facebook.com/saitama.kyojo.style>

saitama 共助

検索

お問い合わせ先

埼玉県 県民生活部 共助社会づくり課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

（埼玉県庁 第三庁舎3階）

電話：048-830-2828

FAX：048-830-4751

NPO活動の資金調達支援に関することや、クラウドファンディングについての情報も提供しています。お気軽にご相談ください。

